

新年にあたって



真室川町長

井 上 薫

新年、明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、心豊かに幸福に満ちた平成26年の新春を迎えることと心からお慶び申し上げます。

昨年は、楽天が球団創設9年目で日本一に輝き、震災を受けた東日本の人達だけではなく、日本中が元気になりました。

国においては、安倍政権の「アベノミクス」効果による、公的年金を運用する年金積立金管理運用独立行政法人の運用益が増大していることなどを挙げ、政策の成果を強調しています。

景気の動向は、「アベノミクス」の成果の状況、T P Pの進捗状況、4月に予定されている消費税アップ、異例とされる安倍首相の経営者に対する賃金増要請等の影響がどのように決定されるかでは不透明な状況であります。

また、震災対策も予算が可決されましたが、復興状況の格差が生じてきていることから、一日も早く安心して安全な生活ができるよう最善の努力が望まれます。

町では、第5次総合計画で定めた将来像を目指し、各施策を行ってまいり

ます。

農業振興として、コメの良質米生産を基本とした米と園芸作物や畜産による複合経営を推進し、農業所得を向上するために、ほ場整備事業を実施していきます。

6次産業化を推進し、新たな発想・視点による商品開発・販売・P R活動を行い、新たな産業の創出と所得向上を目指していきます。

福祉分野では負担軽減等各種施策を継続し、子ども子育て支援事業計画を策定し、保育所、こども園、小・中学校が連携する体制を整備し、子どもが『生きる力』を身につけていけるよう努めてまいります。

住環境の向上のみならず、建築業を中心とした町内経済へ高い波及効果が生まれている住環境快適サポート事業を継続してまいります。

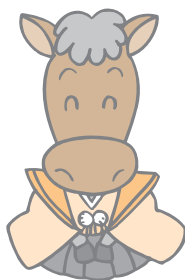
防災体制として、各種施設の整備のほか、自助・共助・公助が互いに連携するため、もしもの被害を最小限に食い止める体制を組織化する「自主防災組織連合会」の立ち上げを行ってまいります。

まむろがわ大使、町イメージキャラクターの活躍、ふるさと納税制度の活用による攻めのP Rで真室川町の認知度を高めてまいります。

町民が安全・安心して将来に希望が持てるまちづくりを目指して、誠心誠意、全力で町政に取り組む所存でありますので町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

新年の門出にあたり、皆様方のご健勝とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶といたします。

今年は午^{うま}年 恵方は東北東



平成26年1月1日現在における午年生まれは、真室川町では730人（男性343人、女性387人）で、総人口8,760人に占める割合の8.3%です（町民課調）。全国では、958万人で、総人口1億2,722万人に占める割合の7.5%となっていて、十二支別の人口では、最も少ない12番目となっています（総務省統計局調）。

午年生まれの有名な人物には、日中国交正常化など政治課題に対応した田中角栄氏、昨年話題になったNHK朝の連続テレビ小説「あまちゃん」で主人公天野アキの母、天野春子役を演じた小泉今日子さんがいます。

過去の午年の出来事には、王貞治選手の800号ホームラン達成（昭和53年）、大学入学試験でセンター試験開始（平成2年）、サッカーW杯が日本と韓国で合同開催（平成14年）がありました。

今年も、消費税が5%から8%に引き上げられます。

陰陽五行では、「甲午（きのうま）」の年。十干の「甲」の字は陽の木、「午」は、陽の火です。この二つの要素は互いに影響を与え合うとされていて、順送りに相手を生み出す「相生」という陽の関係です。

「午」という漢字は、「つきあたる」「さからう」の意味をあらわす「忤」から来ています。邪悪なものに拮抗し、抵抗するところから逆らうの意味になります。

また、「午」は十二支の七番目になり、十二支の動物として馬が当てられています。馬は「物事がうまくいく」「幸運が駆け込んでくる」などと言われる縁起のいい動物です。昨今は、困難なことを感じる場面が多くなつたように感じられますが、縁起のいい動物である馬にあやかつて、困難にぶつかっても乗り越えられる年でありますようにお祈り申し上げます。

